

企画名：市民が主体となった福島第一原子力発電所の監視、情報発信企画

団体名：秋田放射能測定室『べぐれでねが』

1. 報告要旨

当初目標としていた2回の空撮は無事に実施でき、目標は概ね達成できた。但し、今回は天候や風の問題により有人飛行によるより詳細な撮影が実施できなかったため、今後の課題としたい。世間の興味も原発事故当初から見てかなり低下しているのを感じる中、大手の報道機関が取り上げないような詳細な映像を記録し詳細な原発内での作業を公表できたことはとても大きな意義があると思う。特に2回目の撮影については、汚染水の放出工事が行われている周辺でもくもくと煙が立つ様子が克明に記録されており、その映像を基にジャーナリストの方が作業の内容を東京電力、原子力規制庁へと問い合わせを行い実際に回答をもらっている。今回発煙していた箇所、放射性物質で汚染されている環境で高温を発生する作業は放射性物質の大気への放出も危惧される。それ以外に気づいた点としては、土日の撮影では構内ではほとんど作業が行われていない中、汚染水放出のための工事が進められており、汚染水放出のための工事が東京電力側としても優先的に行いたい工事であるというのが感じられた。これらの情報はいずれも、この度の活動がなければ決して世に出ることのなかった情報である

総じて言うと、コストであったり、技術的な問題であったりと、通常実施することの難しい空撮を私たちが行き、その情報を基にジャーナリストの方に情報を渡すという理想的な連携が取れたと思う。陸は帰還困難区域、それ以外は海に囲まれたという一般の人間からは決して目につくことのない環境、かつ大手報道の空撮がほとんど行われることなくなってきた今だからこそ必要とされる活動であり、今後も継続できるよう尽力していきたいと考えている。

2. 成果物

1. 「[「汚染水放出工事の詳細等、福島第一原発のより詳細な映像について公開します。\(2023.02撮影\)」](#) (2023.5.7)
2. 「[「福島第一原子力発電所の報道機関向けの空撮映像を一般公開します\(2023.02撮影\)」](#) (2023.4.13)
3. 「[「福島第一原発、空撮可視化プロジェクト【2022.06撮影】」](#) (2022.8.2)
4. 「[「東京電力福島第一原発 既設の何かの「溶断」で無許可の煙上がる」](#)『まさのあつこ 地味な取材ノート』 (2023.5.10)